

南極地域観測第Ⅸ期計画

萌芽研究観測申請書

国立極地研究所

萌芽研究観測の位置づけ：将来、重点研究観測または一般研究観測に発展することを前提とし、そのプレ・スタディとして科学的成果の見通し、技術的課題の解決を図ることを目的とする予察的な観測や技術開発です。国立極地研究所の共同研究観測として扱いますが、研究代表者は国立極地研究所教員である必要はありません。また、計画提案の時点で国立極地研究所に当該研究分野の研究者がいるかどうかは問いません。

計画年数：1－2年とする。

—入力事項—

1. 研究観測課題代表者情報

課題提案代表者	氏名		年齢	
	氏名(ローマ字)		職名	
	研究者番号			
	E-Mail			
所属機関・部署				
所属先住所・	〒			
電話番号	☎			
南極観測参加歴				

極地研所内対応者	氏名		年齢	
	氏名(ローマ字)		職名	
	E-Mail			

極地研対応者については、極地研以外の課題代表者の申請で、極地研対応者が決定している場合、記入する。未定の場合の対応教員は、極地研で設定する。

2.課題提案者・共同研究者 *記入欄が足りない場合は適宜、行の追加を行ってください。

	氏名	所属	職名	役割分担	南極観測 参加歴	E-Mail
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						

※南極参加歴は「隊次」を記入、参加歴がない場合は「未参加」と記入。

3.課題概要

	課題番号	【提案者記入不要】
課題名（和文）		
課題名（英文）		
キーワード(4つ)		
研究期間 (基本的に2年を 越えないこと)	平成 年度～平成 年度 年間	
調査域・調査時期・ 期間	(海洋・氷海・沿岸・露岩域・内陸・基地観測等、季節・月・○ヶ月○ 日、複数記入可)	
研究の目的 (2,000字以内)		

研究の特色 (2,000字以内)	
期待される成果 (2,000字以内)	
準備状況の概要 (2,000字以内)	

4. 研究観測年次計画概要

年度 (隊次)	計画概要 (年度毎に1,000字以内)	観測参加隊員数※	
		夏隊	越冬隊
平成28年度 (58次)			
平成29年度 (59次)			
平成30年度 (60次)			

※計画年度は、最大2年までとし、夏隊、越冬隊に分けて観測参加隊員数を記入すること。

越冬隊参加者は、予算執行年度後半から翌年度継続して現地で観測に当たることになる。

採択後速やかに観測隊員を確定することが必要となるが、国立極地研究所での雇用は保証しない。

また、観測隊員候補者を選考するにあたっては、以下の資料を参考とすること。

- ・観測隊員として観測事業に携わることについての説明 (資料A)
- ・観測隊員に求められる資質 (資料B)
- ・南極における医療の現状と限界についての説明 (資料C)
- ・南極における医療の現状と限界についての承諾 (資料D)
- ・【承諾書】南極における医療の現状と限界について (資料E)
- ・健康判定の検査項目 (資料F)

5. 研究観測経費の年次計画概要（単位：千円）

年度 (隊次)	設備備品費	消耗品費, その他	計画額の合計
平成 28 年度 (58 次)	計 千円 (内訳概要)	計 千円 (内訳概要)	千円
平成 29 年度 (59 次)	計 千円 (内訳概要)	計 千円 (内訳概要)	千円
平成 30 年度 (60 次)	計 千円 (内訳概要)	計 千円 (内訳概要)	千円

- ・(内訳概要)として、「設備備品」は装置名等を記載、「消耗品その他」は、旅費、役務費等(内容)を記載。

6. 設営面その他の概要

<p>観測実施に必要と考えられる設営支援の概要</p> <p>(電力、雪上車、大型物資の輸送、支援担当隊員等、現在考えられる範囲で記入してください。)</p>	
<p>南極地域の環境の保護に関する法律(参考資料)に対する配慮について記入してください。</p>	
<p>ヒト遺伝子解析研究、相手方の同意・協力や社会的コンセンサス等を必要とする研究、生命倫理に対する取組が必要とされている研究に該当する場合は、その対策と措置を記入してください。</p>	

7. 予備審査希望領域：対応する区分を■にしてください。複数の場合には、■のあとに希望優先領域順に番号を振ってください。

宙空圏、 気水圏、 地圏、 生物圏、 その他、

8. 研究観測計画申請者および共同申請者／研究分担者の主要研究業績(過去5年以内に発表した研究課題に関連した学術研究論文、学術研究著書(教科書、学会抄録、講演要旨は除く)を現在から順に発表年次を過去にさかのぼって5編以内で記入)

--

—入力事項終了—

- ・その他、必要に応じて図や詳しい説明資料等を添付していただいて結構です。但し、1回のEmailで受信可能な容量は10MBですので、分割や圧縮等を行って送付ください。